

科目名	商業登記法	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			法律学科	□必修	■選択
			学科	□必修	□選択
英文表記	Commercial Registration Act	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年		
		開講期間	□前期 □後期 ■通年 □集中		
ふりがな	ふしわら しんえつ	実務家教員担当科目	○	修得単位	4単位
担当者名	藤原 信悦	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	商業登記全般にわたる構造と役割及び商業登記をめぐる裁判例を理解する。				
到達目標	商業登記の基礎知識の取得及び国家資格（弁護士、司法書士、行政書士等）の取得に役立つ知識の習得。				
授業概要	毎回レジメ（A4・1枚）を配布して、それをもとにして講義を実施する。				
授業計画					
第1回	商業登記の役割（会社をめぐる裁判を例として）	第17回	登録免許税(手数料制との相違)		
第2回	企業の種類（法律の眼から見た企業の種類）	第18回	商業登記法27条(商業登記法の最重要条文)		
第3回	法人学説の理解（商業登記理解のための基礎知識）	第19回	会社の目的（目的の可否の判断基準）		
第4回	法人に対する規制（許可主義から放任主義まで）	第20回	登記簿の公開		
第5回	商号の登記（商号の重要性。商号と商標。）	第21回	登記申請に対する処分を争う方法		
第6回	未成年・後見人・支配人の登記（とくに支配人）	第22回	持分会社（いわゆる人的会社の取り扱い）		
第7回	株式会社の設立1（とくに定款の重要性）	第23回	外国会社・解散・清算		
第8回	株式会社の設立2（設立登記の簡素化）	第24回	会社法908条と正当事由（判例を中心に）		
第9回	株式譲渡制限（なにが問題なのか）	第25回	不実登記の取り扱い（判例を中心に）		
第10回	役員変更（商業登記の代表）	第26回	取締役辞任登記未了の効果（判例を中心に）		
第11回	新株発行(増資の登記手続き)	第27回	営業譲渡と商号の続用（判例を中心に）		
第12回	登記簿・登記所・登記官（登記制度の3要素）	第28回	登記の懈怠と過料（登記を怠ると・・・）		
第13回	登記申請の原則（完全オンラインに向けて）	第29回	法人格否認と権利能力なき社団		
第14回	登記申請の却下事由（登記申請の審査基準）	第30回	商業登記の病理（規制緩和とはいうものの・・・）		
第15回	前期のまとめ	第31回	後期のまとめ		
第16回	前期定期試験	第32回	後期定期試験		
授業時間外の学習	特になし				
履修条件 受講のルール	特になし				
テキスト	特になし				
参考文献・資料					
成績評価の方法	すべて定期試験（前期、後期の合算）の結果による。 出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができない。				
オフィスアワー					
成績評価の基準	大学の定める基準（秀 優 良 可 不可の5段階評価）による。				

実務経験及び実務を活かした授業内容	商業登記の網羅的、概念的説明ないし講義ではなく、商業登記申請や企業法務に携わっている経験から理解しておくべき点を重点的に解説する。
学生へのメッセージ	授業は可能な限り出席すること。経験上、出席率と得点は比例関係にある。